

内容

- 挨拶 福田眞作 (弘前大学学長)
- 開会 杉山祐子 (地域研究、地域リノベーション専攻長)
- 解題 平井太郎 (社会学、弘前大学次世代重点研究「地域・文理共創による移動性と意識変容を視野においた well-being指標の探究」代表者)
- 報告1 経済学におけるウェルビーイング論の展開
花田真一 (経済学、上記研究分担者)
- 報告2 心理学におけるウェルビーイング論の展開
古村健太郎 (心理学、上記研究協力者)
- 報告3 開発学におけるウェルビーイング論の展開
白石壮一郎 (地域研究)
- 報告4 ウェルビーイングの社会実装にむけて
福田幸二 (日立製作所、上記研究協力者)
- 総合討論
- 閉会 片岡俊一 (地域共創科学研究科長)

いま、あらためて、ウェルビーイングとは？

国では2021年度からすべての政策のKPI(重要成果指標)にウェルビーイングを採用することを決め、地方創生に代わるデジタル田園都市国家構想の実現にあたり、自治体ごとのウェルビーイングの測定とそれにもとづく政策展開を求めはじめている。しかしながら、ウェルビーイングにかんする多様な分野の研究と実践の蓄積が十分に知られているとは言いがたい。そのため、何のためにウェルビーイングを測定するのか、また、どうそれを地域政策にいかしたらよいか共有されないままに、デジタル技術の活用ばかりが先行している。

そこで今回は、多様な研究領域を抱える弘前大学の強みをいかし、これまでウェルビーイング論を牽引してきた経済学、心理学、そして(国際)開発学の分野のスタッフから、そこでの蓄積から、今、何を学ぶべきかを提示する。さらに、どういった測定や活用のしかたがあるかについて大学と共同研究(弘前大学次世代重点研究)を開始した民間企業の研究者と知見を分かちあう場を設けたい。それにより、地域の望ましい姿の実現に、領域を超えた研究を進めることで、大学がどう寄与しうるかを展望したい。

1. 土手町コミュニティーパークにて参加=事前申込制(定員20名先着順)地域共創科学研究科ホームページからお申込みください(<https://scs.hirosaki-u.ac.jp/> または QR コード)



会場・定員および参加方法

2. アップルストリームにて視聴=オンライン配信(定員なし)当日、アップルストリームのホームページから視聴してください。(<http://applestream.jp/> または QR コード)



デザイン：孫吉良(地域共創科学研究科院生)



弘前大学

主催：弘前大学大学院地域共創科学研究科
問い合わせ先：国立大学法人弘前大学 地域共創科学研究科
〒036-8560 弘前市文京町1番地
TEL：0172-39-3116・3960
Email：jm3116@hirosaki-u.ac.jp